

## 関西北陸ブロック 大山訪問研修2024

### 概要

日程：2024年8月10日（土）、11日（日）

場所：大山乳業農業協同組合、鳥取畜産農業協同組合 ほか

### 参加者

京教大(3)、京経短(5)、京工織(1)、滋県大(2)、同志社(4)、  
龍谷大(2)、立命館(2)、奈良女(2)、近畿大(2)、阪南大(2)、  
大経大(2)、兵庫県大(2)、阪電通(1)、ブロック学生事務局(6)、  
連合会(1)、ブロック職員(3)

計13会員(40+大山乳業職員)名



普段は見ることができない工場の中を見ることができて貴重な体験になった。  
(学生事務局)

## 01 大学生協牛乳が作られるまで

大学生協牛乳が作られる工場に行き、大学生協牛乳が作られるまでの過程を知ることができました。その際、工場に関わっている方が衛生面や牛乳の質を保つ工夫について説明してくださり、参加者は工場の生産ラインを見ることができただけでなく、どのような点が大学生協牛乳のおいしさや安全性につながっているかを理解することができました。

## 02 大学生協取り組み報告

### 大学生協学生委員会が行った産直の取り組みを報告

奈良県立大学生協と立命館生協（衣笠キャンパス）で行われた大山乳業フェア・試飲会についての取り組み報告を行いました。

特設コーナーの設置や試飲会の実施によって、組合員に大山乳業商品を購入するきっかけづくりができていました。

また、大山乳業の職員の方々にも取り組み報告を踏まえて感想を述べてくださいました。



大山乳業をもっと広めるのはもちろん、牛乳をもっと組合員のみんなに飲んでもらえるような企画をやってきたい。  
(奈良女 学生委員)

## 03 大山の牛乳と生協のつながり

### 何故、生協に大山の牛乳なのか？を歴史から学ぶ

2日目に美敷（みたに）研修館へ訪問し、何故大山の牛乳が生協に出荷されているのかを過去のビデオや担当の職員の方のお話から学習しました。

何故、大山乳業は安心で安全な牛乳を組合員に届けているのか。何故、その価値を今も守り続けているのかを当時の社会情勢も踏まえて学ぶことができました。

生協も組合員に安心して安全な生活を送ってもらいたいという価値を大事にしたいです。



他の商品に比べて、商品が出来上がるまでの生産者が全部分かるという安心、安全性がいいなと思った。  
(京教大 学生委員)

# 04 酪農家の顔が見える安心

## 生産者と消費者をつなぐことで安心へ

中村ファームにて牛舎を視察し、乳牛が実際にどのように飼育されているかを学びました。質疑応答の時間には、学生委員から乳牛の生活や酪農家の仕事に関する質問が寄せられ、酪農家の方が親身に答えてくださいました。生乳は一日2回搾られ、酪農家の方は休みなく乳牛のお世話をされているそうです。牛舎の視察と酪農家の方との交流を通じて、私たちが飲む生協牛乳が安全で安心して消費できるものであることがよく理解できました。



酪農家さんの努力を知ったからこそ牛乳をさらに美味しく感じられると思った  
(京経短 学生委員)

# 05 2日間で何を学んだ？ 研修報告会

## 学んだことを持ち帰って、これからにつなげる

鳥取県畜産農業協同組合に訪問し、鳥取県の牛肉についても学びました。その後、その場で研修報告会と称して2日間の研修で学んだことを、自大学生協でどのように活かしていくかについて「取り組み宣言」として発表・交流しました。「自大学の他の学生委員にも大学生協牛乳のよさを伝える」といった宣言もあり、これまでの学びを自大学生協に還元する方法を探し出すことができていました。



記録として残り、生産者さんにそれが届くような取り組みをしたい。  
(近畿大 学生委員)

## 研修の思い出

### 美敷研修館にて1枚



### カウイーをオシャレに！



## 最後にみんなで！



関係者の皆様、2日間本当にありがとうございました。  
この学びを自大学でも活かしましょう！



ご質問や[ K's NEWS ]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！  
ブロック学生事務局 [ 寺内 大介 ]  
Terauchi.Daisuke@univ.coop

私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。